

トラノコ・ファンドⅡ

愛称：中トラ CHŪ-TORA



追加型投信／内外／資産複合

第3期

決算日：2020年3月23日

作成対象期間

2019年3月21日～2020年3月23日

第3期末（2020年3月23日）	
基準価額	9,050円
純資産総額	356百万円
騰落率	△12.0%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「トラノコ・ファンドⅡ 愛称：中トラ」は2020年3月23日に第3期決算を行いました。

当ファンドは、様々な資産クラスに対して分散投資を行い、リスクとリターンのバランスを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、ある程度のリターンの獲得を目指した運用を行っています。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

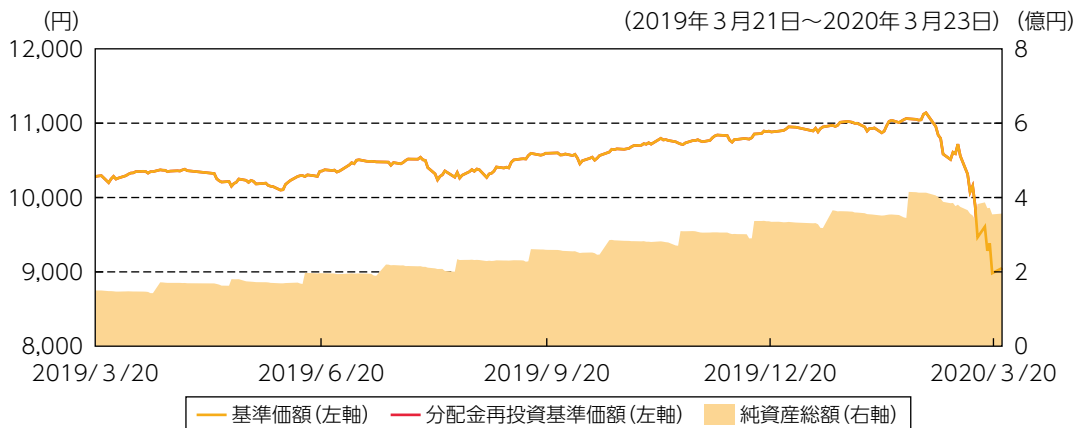
- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド情報」において閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

TORANOTEC
ASSET MANAGEMENT



運用経過

期中の基準価額等の推移



第3期首：10,286円

第3期末：9,050円 (既払分配金0円)

騰落率：△12.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

「基準価額」って？

ファンドの値段のことを基準価額といいます。また取引を行う際の単位があり、それを「口(くち)」と呼びます。1口=1円からスタートし、その後、運用の成果により変動します。当ファンドを含む多くのファンドは1万口当たりの基準価額を公表しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの当期末基準価額は9,050円、期首から△1,236円となりました。2019年は年末にかけて米中貿易協議が第1段階の合意に至り、英国のEU離脱（ブレグジット）も進展したことから主要な株式市場が上昇し、ファンドも順調に上昇しました。ところが、年明け早々米国・イランの政治的リスクの高まりから株式市場は急落で始まりしました。それが収まると今度は新型コロナウイルスの感染がパンデミック級に拡大したため、株式市場はリーマンショックに次ぐ大幅な下落となり、ファンドも大幅に下落しました。

（上昇要因）

- ・ コモディティ（金価格）の値上がり：世界的な金融緩和（金利引下げ）が続き、相対的な金の魅力が上昇し、金価格が上昇しました。

（下落要因）

- ・ 新型コロナによる影響：2020年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大につれて、世界経済への影響は計り知れないものとなり、株式市場、REITなどの金融市場が大きく落ち込みました。債券市場は金利引下げの流れの環境下で堅調でしたが、3月に入ってから新興国債や社債の信用不安が広がったために価格が急落し、1年を通じても下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2019年3月21日～2020年3月23日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 35	% 0.333	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,555円です。
(投信会社)	(29)	(0.277)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等各種書類の作成等の対価
(販売会社)	(－)	(－)	運用報告書等各種書類の交付、取引口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.055)	ファンド財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	14	0.136	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(14)	(0.136)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	29	0.276	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(17)	(0.164)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用等)	(12)	(0.113)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、弁護士費用、法定提出書類の作成等に要する費用
合計	78	0.745	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

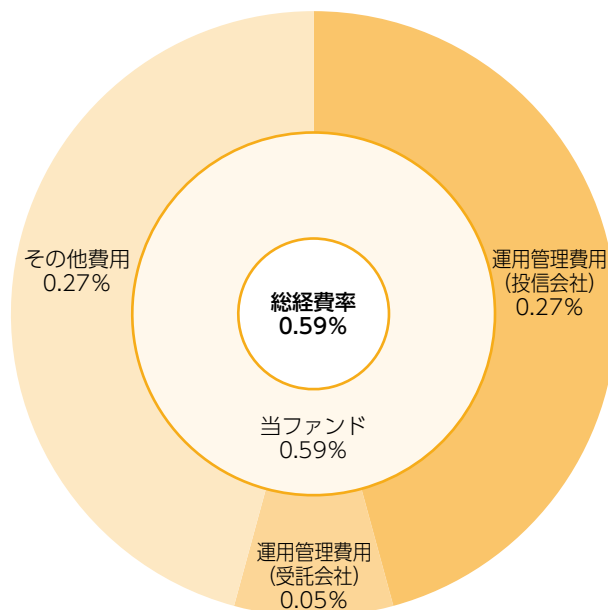
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.59%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

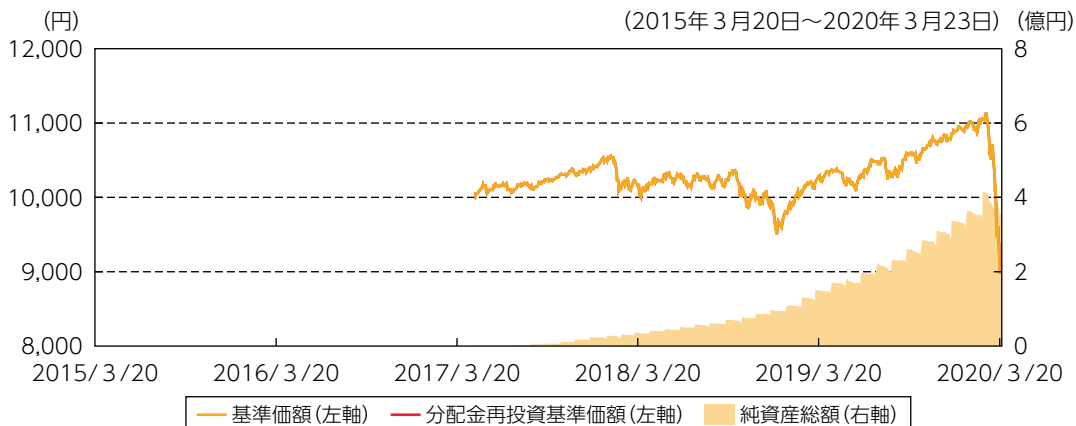
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 当ファンドは運用期間が5年未満のため設定来の推移を表示しております。

(注) 当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2017年4月24日 設定日	2018年3月20日 決算日	2019年3月20日 決算日	2020年3月23日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,142	10,286	9,050
期間分配金合計 (税込)	(円)	—	0	0	0
分配金再投資騰落率	(%)	—	1.4	1.4	△12.0
純資産総額	(百万円)	1	35	149	356

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年3月20日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2019年3月21日～2020年3月23日)

<株式市場>

2019年は米中貿易協議が第1段階の合意や、英国のEU離脱（ブレグジット）の進展から主要な株式市場が上昇しました。ところが、2020年に入り、新型コロナウイルスの感染が世界中でパンデミック級に拡大したことから、株式市場はリーマンショックに次ぐ大幅な下落となりました。

<債券市場>

F R B（米国連邦準備理事会）による金融緩和方向への転換もあって世界的な金利低下傾向は継続し、債券市場は上昇トレンドにありましたが、新型コロナウイルスによる影響が広がると、新興国や社債の価格が急落したため、債券市場も大きく下落しました。そのため、通期でもマイナスとなりました。

<REIT市場>

株式市場の上昇にともない不動産需要が期待され上昇していたREIT市場でしたが、他市場と同様に、新型コロナウイルスの影響による不動産需要減少の見通しが広がったために価格が大きく下落し、通期でもマイナスとなりました。

<商品市場>

世界的な金融緩和で長期金利低下が継続しているため、金（ゴールド）の相対的な魅力が高まり、価格は上昇しました。他市場同様、新型コロナウイルスの影響を受けて下落しましたが、リスク資産の逃避先として資金の流入もあったために下落幅は限られ、通期でも上昇となりました。

<為替市場>

F R Bの3回にわたる利下げにより、日米間の金利差縮小から円高＝ドル安が進みましたが、利下げが打ち止めとなり、米国経済の堅調継続が確認されると、円安＝ドル高方向へと転換しました。その後、新型コロナウイルスの影響による米国経済へのダメージを懸念して、急激に円高になる場面がありましたが、その後パニック的な動きは落ち着いて、期末時点では1ドル＝110円台に回復しました。

当ファンドの運用経過と結果

(2019年3月21日～2020年3月23日)

当ファンドは、トラノコ・マザーファンドⅡを通じて、世界各国の上場投資信託証券（ETF）等に投資しました。価格の振れ幅（リスク・リターン）に特に注目して運用されるこのマザーファンドは、リスクとリターンのバランスを重視し、大トラと小トラのマザーファンドの中間程度のリスクとなるように計算されたモデルポートフォリオに従って運用されています。

また、為替リスクに関しては、米ドル建ての実質的外貨建て資産に対して、期中に複数回ヘッジ比率の増減調整を行いました。ヘッジ部分は為替変動リスクが低減されますが、期末現在、ヘッジ比率は84.7%です。

厳しい投資環境のなか、中トラは2月まで大幅に下落した株式への投資で被ったマイナスを長期金利低下の恩恵を受けた債券のプラスがカバーしていましたが、3月に新型コロナウイルスの影響で債券がマイナスになると中トラ全体もマイナスとなりました。ただ、期間通算でプラスとなった金（ゴールド）に分散投資していたため、ファンド全体のマイナスが軽減されました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年3月21日～2020年3月23日)

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

分配金

(2019年3月21日～2020年3月23日)

中長期的な市場見通し等から複利効果を最大限に享受していただくことが最善であると判断し、当期は分配を見合わせました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第3期	
	2019年3月21日～2020年3月23日	
当期分配金	—	
（対基準価額比率）	—	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	384	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主として「トラノコ・マザーファンドⅡ」に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

トラノコ・マザーファンドⅡ

引き続き、運用の基本方針に従い、リスクとリターンのバランスを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、ある程度のリターンの獲得を目指した運用を行います。

お知らせ

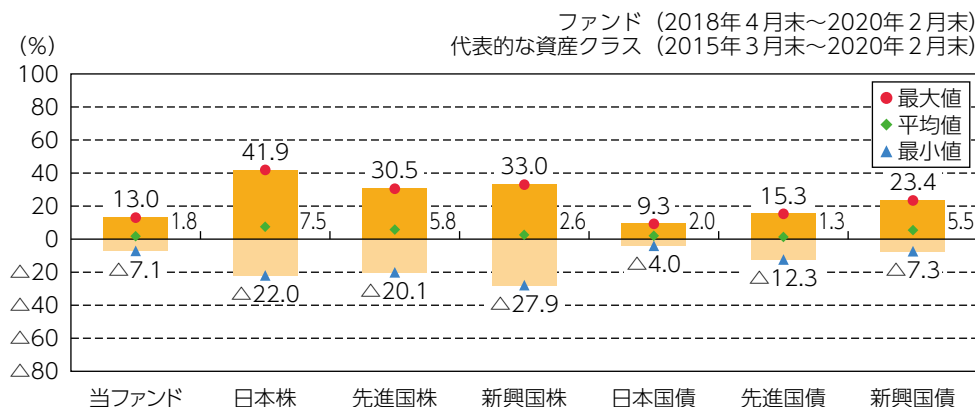
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	<p>◆ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。</p> <p>◆マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>◆マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50%～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>◆外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。</p>
主要投資対象	親投資信託である「トラノコ・マザーファンドⅡ」
運用方法	<p>①マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50%～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>④資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。</p>
分配方針	<p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託会社が、信託財産の成長に資することを目的に、上記①の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。従って、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

(参考情報)

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記グラフは、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値について表示したものです。なお、ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご留意ください。

出所：Bloombergのデータを基にTORANOTEC投信投資顧問（株）が作成。

<各資産クラスの指数>

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…ダウ・ジョーンズ先進国市場インデックス（円ベース）

新興国株…ダウ・ジョーンズ新興国市場インデックス（円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…FTSE新興国市場ドル建てソブリン債券インデックス（円ベース）

●東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●ダウ・ジョーンズ先進国市場インデックスとは、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。

●ダウ・ジョーンズ新興国市場インデックスとは、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。

●NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI国債は野村證券株式会社の知的財産であり、ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

●FTSE世界国債インデックスとは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●FTSE新興国市場ドル建てソブリン債券インデックスとは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年3月23日現在)

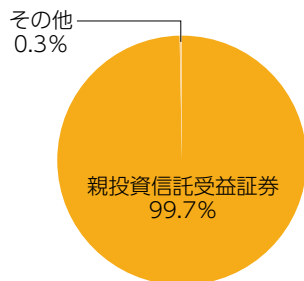
組入ファンド

	銘柄名	組入比率
1	トラノコ・マザーファンドⅡ	99.7%
	組入銘柄数	1銘柄

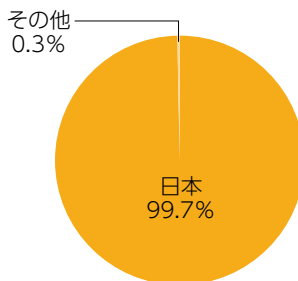
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入ファンドに関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

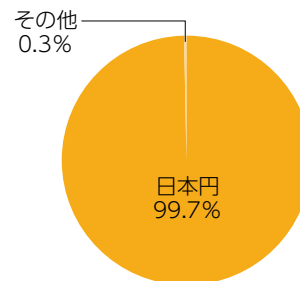
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

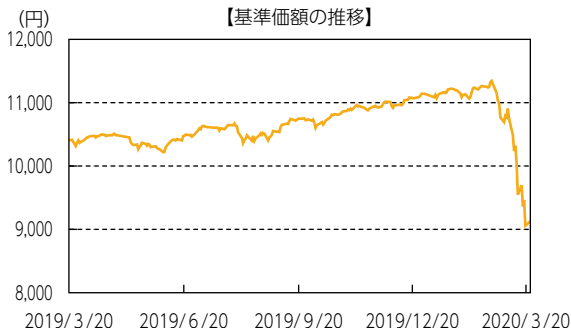
純資産等

項目	第3期末
	2020年3月23日
純資産総額	356,873,358円
受益権総口数	394,320,450口
1万口当り基準価額	9,050円

(注) 当期中における追加設定元本額は451,643,519円、同解約元本額は203,083,512円です。

組入上位ファンドの概要

トラノコ・マザーファンドⅡ



【為替ヘッジ比率】

比率 (対米ドル建資産)	84.7%
--------------	-------

【1万口当たりの費用明細】

項目	当期	
	2019/3/21	2020/3/23
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	15円 (15)	0.139% (0.139)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用)	18 (18)	0.167 (0.167)
合計	33	0.306
期中の平均基準価額	10,707円	

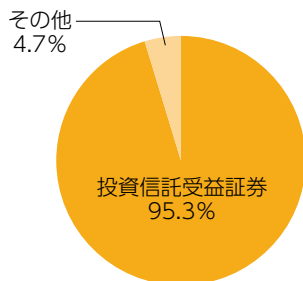
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。
 (注) 上記項目の概要につきましては3ページを参照ください。

【組入上位10ファンド】

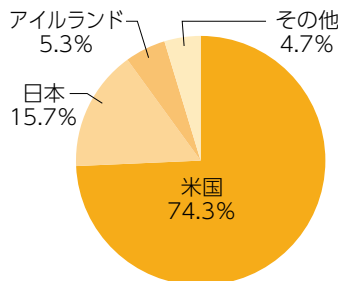
	銘柄名	投資対象資産	通貨	国(地域)	比率(%)
1	Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	債券	米ドル	米国	18.7
2	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	債券	米ドル	全世界	14.7
3	VANGUARD S&P 500 ETF	株式	米ドル	米国	13.1
4	TOPIX連動型上場投資信託	株式	日本円	日本	10.8
5	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	債券	米ドル	米国	10.1
6	VANGUARD FTSE DEVELOP EUROPE UCITS ETF	株式	ユーロ	欧州	5.3
7	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	REIT	日本円	日本	4.9
8	ISHARES GOLD TRUST	コモディティ	米ドル	米国	4.8
9	ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	債券	米ドル	新興国	4.7
10	VANGUARD FTSE EMERGING MARKET	株式	米ドル	新興国	2.8
組入ファンド数				12銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。
 (注) 国(地域)については発行国もしくは投資国を表示しています。

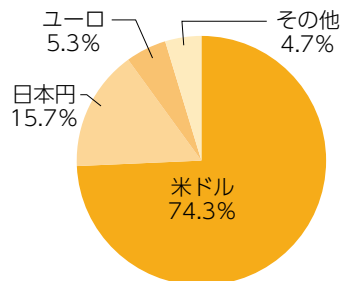
資産別配分



国別配分



通貨別配分

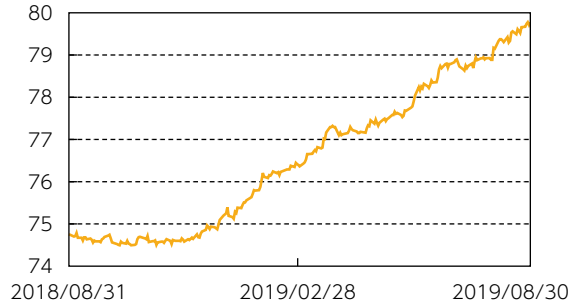


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分については発行国を表示しています。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明、組入銘柄に関する詳細な情報等は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> Vanguard Short-Term Corporate Bond Index Fund

※Vanguard Inc.作成のANNUAL REPORTを基に、TORANOTEC投信投資顧問（株）が作成しています。

【1口当たりの純資産価額の推移】（2018年8月31日～2019年8月30日）
 (米ドル)



【費用比率】

(2018年9月1日～2019年8月31日)

項目	比率 (%)
エクスペンスレシオ	0.05

(注) エクスペンスレシオは、当期中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

Sector Diversification

As of August 31, 2019

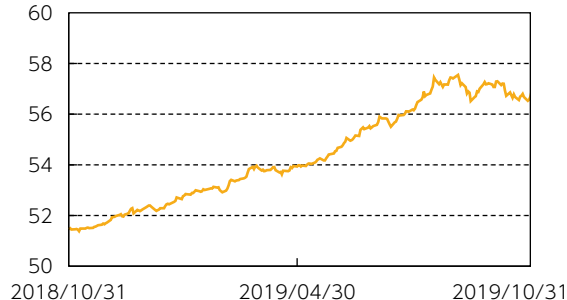
Finance	41.2%
Industrial	53.7
Treasury/Agency	0.8
Utilities	4.2
Other	0.1

The table reflects the fund's market exposure. Any holdings in short-term reserves are excluded. The agency and mortgage-backed securities sectors may include issues from government-sponsored enterprises; such issues are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government.

<ご参考> Vanguard Total International Bond Index Fund

※Vanguard Inc.作成のANNUAL REPORTを基に、TORANOTEC投信投資顧問（株）が作成しています。

【1口当たりの純資産価額の推移】（2018年10月31日～2019年10月31日）
 (米ドル)



【費用比率】

(2018年11月1日～2019年10月31日)

項目	比率 (%)
エクスペンスレシオ	0.08

(注) エクスペンスレシオは、当期中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

Sector Diversification

As of October 31, 2019

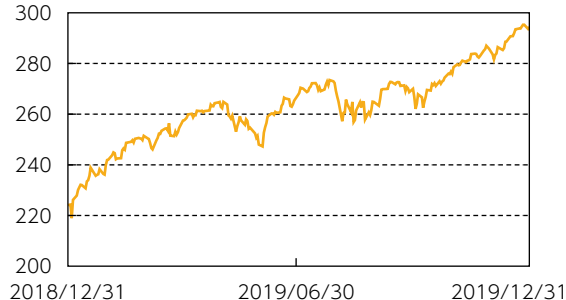
Finance	7.7%
Foreign	80.1
Industrial	6.6
Utilities	1.2
Other	4.4

The table reflects the fund's market exposure. Any holdings in short-term reserves are excluded. The agency and mortgage-backed securities sectors may include issues from government-sponsored enterprises; such issues are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government.

<ご参考> Vanguard S&P 500 ETF

※Vanguard Inc.作成のANNUAL REPORTを基に、TORANOTEC投信投資顧問（株）が作成しています。

【1口当たりの純資産価額の推移】（2018年12月31日～2019年12月31日）
 (米ドル)



【費用比率】

(2019年1月1日～2019年12月31日)

項目	比率 (%)
エクスペンスレシオ	0.03

(注) エクスペンスレシオは、当期中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

Sector Diversification

As of December 31, 2019

Communication Services	10.4%
Consumer Discretionary	9.8
Consumer Staples	7.2
Energy	4.3
Financials	12.9
Health Care	14.2
Industrials	9.1
Information Technology	23.2
Materials	2.7
Real Estate	2.9
Utilities	3.3

The table reflects the fund's equity exposure, based on its investments in stocks and stock index futures. Any holdings in short-term reserves are excluded. Sector categories are based on the Global Industry Classification Standard ("GICS"), except for the "Other" category (if applicable), which includes securities that have not been provided a GICS classification as of the effective reporting period.

TORANOTEC

ASSET MANAGEMENT